

平成 31 年 2 月 15 日
瑞浪市民生部保険年金課

平成 30 年度 第 2 回瑞浪市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 平成 31 年 2 月 13 日 (水) 13 時 30 分～14 時 40 分
場 所 瑞浪市中央公民館 第 2 研修室
出席者 ・ 被保険者代表 三浦千恵子、有我重子、三宅康夫、加納牧雄
・ 保険医薬剤師代表 野田和也、江口研、佐々木貴浩
・ 公益代表 溝口博敏、伊藤明芳、橋本孝晴、木村ゆき子
・ 被用者保険代表 古田英樹
・ 事務局 民生部長 加藤誠二
保険年金課長 林 恵治
課長補佐兼国保係長 豊崎 忍
国保係主査 後藤悠希

議事録署名者 三浦千恵子委員、佐々木貴浩委員

傍聴者 なし

事務局 委員交代について報告 被用者保険代表の澤田委員から古田委員へ
会長 開会挨拶

本日は今年度補正予算と新年度予算についてご協議いただくので、皆様の闊達なご意見をお願いします。

事務局 加藤民生部長挨拶

国民健康保険につきましては、平成 30 年度に制度改革が行われ、財政運営の責任主体が岐阜県に移りました。同時に、瑞浪市の国民健康保険料の賦課方式を 4 方式から 3 方式に変更しましたが、市民の皆様からの問い合わせによる混乱もほとんどなく、スムーズに新制度への移行ができたと認識しております。市民の皆様にも、国民健康保険は支え合いの制度であるという趣旨がご理解いただけていることと思います。

平成 31 年度の当初予算額総額は 35 億 6,800 万円としており、平成 30 年度と比

較して 6,000 万円の増額となっております。被保険者数は減少傾向ですが、一人あたりの保険給付費が約 3%伸びると見込まれているためです。

本日は、報告事項 1 件、議案 2 件、その他 1 件について、慎重審議のほどよろしくお願いいたします。

事務局 会議成立報告

会長 議事録署名者の指名 三浦委員、佐々木委員
本会議の公開宣言

事務局 傍聴人なし

報告事項 平成 30 年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算について(平成 30 年 12 月議会議決分)

事務局より 林 説明

※歳入歳出それぞれ 7,050 万円増額し、歳入歳出の予算総額をそれぞれ 35 億 7,850 万円とするもの。

委員質疑 国保事業費納付金について、額の確定はいつですか。

事務局 正式には年度当初の通知により確定となります。

委員質疑 その通知により、当該年度の納付金額が確定するということによろしいですか。

事務局 お見込みのとおりです。年度途中で納付金額が変更されることはありません。

議 題 議第 1 号 平成 30 年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算について(平成 31 年 3 月議会上程分)

事務局より 林 説明

※歳入歳出それぞれ 550 万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 35 億 8,400 万円とするもの。

委員質疑 療養給付費について、11 月診療分の実績額から見直しをしたとの説明がありましたが、増額についての原因は何が考えられますか。

事務局 前年同時期の医療費と比較すると、目立つのは「がん」の治療費です。前年の1.7倍程度になっています。そのため、この療養給付費の増については、季節柄の増額というよりも、そういった高度・高額な治療を受けている方のために一時的に増額していることが考えられます。

委員質疑 12月補正で国民健康保険料を減額し、この3月補正でも減額していますが、それぞれの時点で見直しを行ったということでしょうか。

事務局 お見込みのとおりです。12月補正は7月本算定後、8月末調定額から見込んでおります。3月補正では、年間被保険者数が減少することで、更に見直しをかけた結果ということになります。

決定事項 議第1号 平成30年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算について
(平成31年3月議会上程分)は議案のとおり可決

議 題 議第2号 平成31年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算について
事務局より 豊崎 説明

※歳入歳出予算の総額をそれぞれ35億6,800万円と定めるもの

委員質疑 退職被保険者数が大幅に減少しているのはなぜでしょうか。

事務局 退職者医療制度は平成26年度末で廃止され、新規で対象となる方はなくなっただため、年々減少するものです。

委員質疑 特定健診の現時点での受診率を教えてください。集団健診の影響は。

事務局 集団健診については、1月、2月に行うものなので、現状把握できている受診率には影響しません。受診率は、平成31年2月の速報値で、31.4%となっており、平成29年度の同時期では28.9%でしたので、昨年比2.5ポイント増となっています。

委員質疑 受診率の増要因について教えてください。

事務局 未受診者の勧奨のハガキについて、今年度より年代別に2種類のハガキを送ったことと、今年度から全年齢に送っていることがあります。また、市内の開業医の先

生に個別で訪問して特定健診の受診についてお話できたことで、お力添えをいただけたことも大きいと考えます。

なお、集団健診については、東濃厚生病院にお願いして、今年度から土曜日の受診日を一日設けました。

委員質疑 繰入金のうち、一般会計繰入金は、一般会計から繰り入れるものと思いますが、毎年増加するものなのでしょうか。

事務局 繰入金には、一般会計繰入金と、財政調整基金繰入金がありますが、そのうち一般会計繰入金のうち、一番大きな割合を占めるものとして、基盤安定負担金があります。基盤安定負担金は、所得が少ない方について、7割、5割、2割といった軽減措置を行った場合に不足する保険料収入について、国と県から交付されるものです。被保険者数は毎年減少しておりますが、被保険者数の減少による減額よりも軽減措置対象基準額による増額が多いため、一般会計繰入金は増加しています。

委員質疑 東濃厚生病院の院長より、釜戸地区と陶地区を中心にバスでの巡回診療を行う予定であると聞いています。可能ならば、特定健診をその巡回診療に加えて実施したらどうでしょうか。

事務局 東濃厚生病院が平成31年夏ごろから巡回診療を行う意向であることは伺っています。巡回診療のメニューの中に、特定健診を設けられればと思います。しかし、医師会との調整であるとか、現在行っている集団健診との兼ね合いなどの調整が必要になってくるため、現時点ではこういった形で特定健診を巡回バスの中に盛り込んでいくのか、検討段階ということになります。

委員質疑 特定健診について、多治見市は、受診の際に食事制限がないと聞きました。そういった形にすると、受診率の向上につながるのではないのでしょうか。その場合、特定健診の費用が高額になるのでしょうか。

事務局 食事をすると血糖値が上昇しますので、検査は空腹時に行うのが基本となる、と認識しております。多治見市にも改めて確認いたしますが、受診率の向上につながるようなことがあれば、その実行に費用がかかる場合でも、検討ののち補正予算で対応いたします。

委員質疑 新年度予算に予備費を計上することについて、県が交付する交付金の額を保険給

付費が上回った場合に予備費を利用して市が支払うと説明がありましたが、その分について、翌年度に県から補填があるということによろしいですか。また、平成30年度予算に予備費がなく、平成31年度予算に予備費があることについて、その理由を教えてください。

事務局 お見込みのとおりです。平成30年度予算に予備費がないことについては、平成30年度予算策定時にはそういった交付金の取扱いについて具体的に示されていなかったため、平成31年度予算より予備費を計上したものです。

委員質疑 収納率について、ここ数年は同じくらいのパーセンテージで推移しているようですが、どのような状況でしょうか。

事務局 ここ数年は、収納率が伸びているものの、鈍化していることは確かです。瑞浪市は、県下において比較的高い収納率を維持しています。ここから大きく収納率を伸ばすことは非常に難しいと感じております。ただ、現時点で昨年同時期の収納率は若干上回っており、昨年実績よりも高い数字となるよう、更に努力したいと考えております。

会長 現状の収納率96.36%というのは、非常に高い収納率であると思います。低下することのないよう、頑張ってくださいと思います。

決定事項 議第2号 平成31年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算については議案のとおり可決

その他 平成31年度の国民健康保険制度の主な見直しについて

事務局より 後藤 説明

※国民健康保険法の改正に基づく瑞浪市国民健康保険条例の一部改正

(保険料賦課限度額の見直し、中低所得者に係る保険料軽減の拡充及び旧被扶養者に係る保険料軽減措置の見直し)

委員質疑なし

～質疑終了～

閉会

その他事務局より 「岐阜の国保」に瑞浪市が掲載されたことについて